

質疑・一般質問

9月13日、14日、15日の本会議では、18人の議員が一般質問を行い、市の見解を求めました。また、10月12日に質疑と緊急質問がありました。発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 竹内 きよ子** (明石かがやきネット・代表質問)
 ①令和3年度明石市一般会計決算 ②市内小・中学校における教育環境整備 ③明石市の投票率向上に向けて
- 千住 啓介** (自民党 真誠会・代表質問)
 ①令和3年度決算及び基金 ②あかし安全のまちづくり計画 ③市内の均衡ある発展 ④DX推進事業
- 国出 拓志** (公明党)
 ①西明石 ②防災・減災対策 ③男性用トイレにサンタリーボックスを設置しないか
- 林 丸美** (明石かがやきネット)
 ①新型コロナウイルスの影響による生活困窮世帯への支援 ②高丘小中一貫教育校へ通う児童生徒の通学状況 ③オーガニック給食
- 石井 宏法** (自民党 真誠会)
 ①デジタル地域通貨 ②明石市民まつり・花火大会
- 飯田 伸子** (公明党)
 ①マイナンバーカード交付推進 ②带状疱疹ワクチン接種費用助成制度
- 吉田 秀夫** (明石かがやきネット)
 ①明石市職員の定年年齢引上げ ②災害時要配慮者への支援 ③市民病院の建て替え ④明石市道路通報システム(ここみてReport)
- 寺井 吉広** (自民党 真誠会)
 ①河川の管理 ②一人暮らしの方の安全・安心な暮らしの確保
- 松井 久美子** (公明党)
 ①プレコンセプションケア(若い男女を対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組) ②病児・病後児保育事業の拡充 ③脱炭素社会実現に向けた本市の考え方
- 梅田 宏希** (公明党)
 ①新型コロナウイルス対策 ②市役所新庁舎の整備
- 尾倉 あき子** (公明党)
 ①施設・里親などを集結つケアリーバーへの支援 ②路線バス藤江周辺線地域の高齢者・障がい者等への移動支援 ③子どもたちが楽しめるスケートボードパークの整備
- 楠本 美紀** (日本共産党)
 ①明石養護学校にスクールバスを ②生活保護受給者に対する支援 ③下水道汚泥の堆肥化を ④介護保険事業
- 森 勝子** (維新の会)
 ①西明石活性化 ②県立明石公園 ③市内の医療体制 ④明石川の災害時の対応 ⑤たこバスルートの延伸 ⑥旧統一教会 ⑦人と動物の共生 ⑧ボランティア団体支援
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
 ①障害者支援
- 宮坂 祐太** (フォーラム明石)
 ①民生児童委員を取り巻く諸課題
- 丸谷 聡子** (かけはしSDGs)
 ①明石市で安心して出産できる産後ケア施設の体制づくりと産後ケア事業の改善 ②市役所新庁舎建て替え計画 ③明石公園に関するPT(プロジェクトチーム)の取組
- 辻本 達也** (日本共産党)
 ①議案第67号 令和3年度明石市一般会計歳入歳出決算 ②地方税法上の守秘義務調査特別委員会からの改善提案 ③明石市総合浸水対策計画 ④旧統一教会及び関連団体と本市の関わり
- 北川 貴則** (維新の会)
 ①コロナに負けない生活支援と福祉の充実 ②自治会未加入者の方々への対応 ③(仮称)明商ネット大学の創設
- 10月12日質疑
 辻本達也(日本共産党)
 ◎議員提出議案第9号 泉房穂市長に対する問責決議のこと
- 10月12日緊急質問
 竹内きよ子(明石かがやきネット)
 ◎泉市長による暴言

令和3年度決算

民生費の構成比 50%超 将来を見据えた財政運営を

問 令和3年度一般会計決算において、実質収支の黒字と基金残高が増加した要因は何か。また、歳出の目的別内訳を見ると民生費が50.9%を占め、突出して高いが、必要なインフラ整備に対する予算は確保されているのか。将来を見据えた財政運営について、市の見解を



インフラの維持管理も重要

答 3年度一般会計決算の実質収支は、12億7千万円の黒字である。要因は、市税収入の減少を見込んでいたが前年度と同水準を確保できたため。また、市の貯金である基金は地方財政法に基づき、約8億6千万円を積み立てたことで、年度末の基金残高は、約120億6千万円となった。民生費の構成比が高い理由は、待機児童対策をはじめ、市独自の事業経費や障害福祉費

問 市役所新庁舎はシンボリックな施設であるため、建て替えについては市民の意見を反映しなくてはならないと考える。そのためには市民参画が欠かせないが、市民から全く見えない

市役所庁舎の建て替え

基本設計に市民意見の反映を

答 市役所新庁舎はシンボリックな施設であるため、建て替えについては市民の意見を反映しなくてはならないと考える。そのためには市民参画が欠かせないが、市民から全く見えない

問 西明石活性化に向けた取り組みは、2017年に示された案と現状では大きく異なっている。本市の考えを問う。

行政サービス機能の向上は

動き出した西明石活性化

答 2017年には、行政サービス機能の向上、地域交流拠点の整備等を図るため、市が所有

する西明石駅南側の旧国鉄清算事業団用地を有効活用するとの方向性を示した。しかしその後、JR西日本から西明石駅周辺地域全体を含めたまちづくりの提案があり、2020年12月に協定を締結し、エレベーター付きの新

改札と駅ビル建設のほか、同社社宅用地と一体でのサンライフ明石の建て替え等を順次進めている。なお、サンライフ明石には、これまでの機能に地域交流拠点としての機能を追加する予定だ。

また、旧国鉄清算事業団用地等は、現在の整備計画と並行して、隣地を所有する関係機関と土地の権利関係の調整を行い、さらなる地域の活性化につながる取り組みとして、駅周辺の当該土地を最大



今年度中に基本設計を策定

答 市は、市役所の建て替えに向けて、令和2年12月に基本設計(素案)を作成し、パブリックコメントを実施、3年4月に広報紙を活用したアンケ

案の修正を行って。今後は、素案の修正版を12月議会に報告した上で、パブリックコメントや市民説明会を行い、市民の意見を取り入れる予定であり、審議組織の設置は検討していない。

なお、国の財政支援を受けるためには、今年度中に基本設計を策定する必要があります。

市役所新庁舎は、雨水の再利用や地中熱を取り入れた空調システム、太陽光発電設備を設置するが、全ての電力を賄うことは設置スペースや費用の面から難しいため、まずは庁舎に必要なエネルギーを半減することを目指していく。



建て替えが予定されているサンライフ明石

進める。行政サービス機能の向上は、西明石全体の活性化の中で検討していく。